日刊 いわき民報

発行所
平市田町 電176・381・1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原 登

春蠶の掃立始る
桑の發育も順調

石城地方の養蚕の掃立は昨九日から夏井村を皮切りに大浦、草野、高久、豊間、平市小川、赤井、好間、磐崎の十二カ市町村約一万グラムの掃立てを行つた、郡内の春蚕掃立て卵量は三万三千グラムで二十日ごろまでに終る予定である、今年の桑園の発育は気候が良いため成育が順調だといわれる

好間の要望に對策協議
上水道委、結論は次回まで

平市会第七部（上水道）常任委員会は九日午後一時から市役所に開き舘橋、野崎委員欠席、去る三月好間村から前舘木市長あてに出された好間村上水道に対する要望書の対策を審議し、大体の見透しを得たが結論は次回に持越すことになつた

この要望書の対策は前市会の特別委員会で二度も検討したが結論が出ないまゝ新市会に持込まれたもの、要望書の内容は『鎌田山上水道必要なし』との市民の一部から出された声明書の一部にある『好間江筋組合との契約…』の字句をとりけせ▽送水路に制水べんをとりつけ患者に契約の水分だけとれ▽二箇六分以上とつた水分に対し十六年間（昭和八年―昭和二十三年迄）の違約補償料を支払え▽大滝江筋の臨時費の負担を市でも分担せよ▽水路使用料の年額五百円を白七十倍にしてくれ▽制水べん設置によつて排水される過しよう水を部落に使用せしめられたい

議長に草野氏
内郷初町會常任委決る

内郷初町会は九日午前九時から開き予想通り議長草野四郎氏、副議長佐司平三郎氏と決定した、なお常任委員会は今迄の委員会に厚生土木を加え五つの委員会を設定し各委員を次の通り確定した

△総務委員会 委員長上手利蔵 副委員長菅本三義 委員草野三郎 中西運之助 志賀安 佐々木運吉△教育委員会 委員長荒下秀貫 副委員長内谷兼弘 委員長雄 佐久間忠弥 山田管雄△厚生委員会 委員長田辺実 副委員長佐川好男 委員馬目武重 草野啓助 齋藤かおる 古川芳次△土木委員会 委員長神好一郎 副委員長木田辰雄 委員沼田常信 須田一男 大谷文夫△経済委員会 委員長久野栄次郎 副委員長柿沼五郎 委員志賀忠司 吉田三郎 三木松

砂糖の配給
四、五日過れる

平市商工課では四月分家庭用、在想用砂糖の配給について現場の入荷がおくれたので四、五日配給がおくれる予定だと語つている

輪姦した八名に判決
四年から執行猶豫

浪本町水の谷字亀の尾士工上遠野利夫(三)ら八名にかかる暴行並に暴行致傷の最終公判は九日地裁平支部に石川副検事立会で志村裁判長から次の判決が言渡された

▽湯本町水の谷字亀の尾士工上遠野利夫(三)懲役四年 ▽同町字錦沢工業岐勝夫(二)懲役三年 ▽磐崎村藤原字研堂無職千葉良次郎(三)懲役三年 ▽湯本町字大工崎支柱夫浜尾市太郎(二)懲役三年 ▽湯本町字浅貝工員尾塚雄(九)＝仮名＝懲役三年以上六年▽同町水の谷字亀の尾士工佐藤良雄(九)＝仮名＝懲役三年以上五年 ▽同町水の谷字亀の尾採炭補手佐々木政雄(二)懲役三年執行猶予五年 ▽同町水の谷字亀の尾炭坑夫渡辺一夫(二)懲役二年六月執行猶予三年なお共犯者の湯本町水の谷字亀の尾渡辺義敬(三)は欠席のため別審理とされた

上遠野らは二十四年十一月二十日ごろ湯本町字錦沢地内の山神

胸部を刺し生命危篤
兄がやくざな弟を

九日午後七時ごろ好間村北好間農業阿部仁三郎さん(五)の長男栄三郎(三)＝古河炭鉱電気係＝は弟の利三郎(三)が兄に無断で自転車に乗つて行こうとしたことに憤かい自宅前に呼び止め茶ダンスの中から匕首（四千八百円相当）を盗まれた

盗難
平市南町九農業会書記宅

昨夜（四千八百円相当）を盗まれた

競輪繁榮策に
お樂しみ抽選券

平市競輪場では九月の第四回競輪から『おたのしみ抽選券』を発行し果券売上げの一部を計ることになつた、この抽選券は当たらなかつた競輪券二十枚と引替えに一枚開催中は競輪場の発売所で、開き外か市競輪場で十一日から六月六日までお換してくれる

今度の競輪はこの抽選券一万枚（開封式）を発行し△抽選日は六月八日市役所で△支払開始は九日から競輪の同じ交換場所で▲賞金せい求き期は第六回競輪開催前々日迄△賞金 特賞一万円（一枚）一等三千円（二枚）二等千円（五枚）三等五百円（十枚）四等三百円（二十枚）五等百円（五十枚）

綿盗難
内郷町つづら織織業村上庄作(五)方

では九日夜から朝方にかけ自宅裏庫から打返綿約四貫匁（四千八百円相当）を盗まれた

樂しい修學旅行
七校が認可さる

修学旅行シーズンを迎えて各小中学校では卒業学年の修学旅行について県教委石城出張所あてに認可申せい中のところ各小中学校では卒業学年各れも十七日東京横浜方面へ日帰り▽磐崎中、好間中各れも十五日水戸方面へ一泊二日、錦中十一日棟内で同地内の矢吹某女(三)に暴行を加え更に同年十二月二日ごろ湯本町水の谷字亀の尾地内にある四国機械工業場内で同所の片山某女(三)をおとして暴行を加え金治一カ月の傷害を負わしたもの

優良船と船員を表彰
江名町水難救護會總會で

江名町水難救護会では九日同町漁市場ろう上に総会を開き優良漁船及び優良船員の表彰を行つた、受賞者次の通り

▽優良漁船（江名）1佐藤長江（第二辰巳丸）2佐藤義一（第二東洋丸）3中田芳男（第二善宝丸）4中田善三郎（第二朝日丸）5佐藤己之蔵（辰巳丸）同（中之作）1吉田義勝（第五金栄丸）2金成恒男（第二開運丸）3太治昌（第六太成丸）4吉田喜好（第三大陽丸）5吉田喜好（第三大陽丸）

▽優良船長（江名）1鈴木幸吉（第二辰巳丸）2佐藤仙治（第二東洋丸）3中田源治（第二善宝丸）4坂本寅吉（第二朝日丸）5岩下恵（辰巳丸）同（中之作）1吉田勝栄（第五金栄丸）2会田泰三郎（第三開運丸）3遠藤重治（第六太成丸）4吉田恒一郎（第五大陽丸）5金成勝利（第三大陽丸）▽優良船員甲板員（江名）高橋春雄（第八海運丸）武藤万次郎（第五喜久丸）中田秀与（第二善宝丸）鈴木併八（第五三吉丸）高橋新次郎（第三日康丸）大越寅吉（第三すが丸）同（中之作）赤塚久平、吉田仲蔵 山田栄吉 小林標松 樽木丑三郎 松田与四郎 ▽優良機関部員（江名）中田春松 坂本与助 鈴木源三郎 同（中之作）吉田太吉 吉田儀平 荒宣治▽優良通信部員（江名）菊地孝司 下遠野登 同（中之作）速水駒雄 猪狩清 ▽船員功労者（江名）齋藤松吉 四家田松 戸田多三郎常吉 鈴木併勝松 同（中之作）鈴木丑松 馬上与三郎 吉田喜代松 吉田春吉 橋本幸太郎 ▽優良海産商組合員（江名）高木安次郎 坂本捨吉 中田泰次 黒川一郎 金成好男 遠藤寅吉 中田平次 坂本俊太郎 鈴木亀治 吉田沢田正貫 高木金之祐 山野辺力衛 大平とう 根本金嗣 竹永豊 風間敬太郎 鈴木勇 吉田喜久蔵 吉田英司 ▽優良大型漁船 マグロ延なわ漁業 金成徳治 併東法五郎（第七日康丸）カツオつり漁業 金成徳治 併東三治（第五日康丸）秋刀魚漁業 吉田徳太郎（第七開運丸）▽優良大型船船員 石垣ほう次郎（第七開運丸機関長）鈴木邦之助（第七力勝丸船長）千葉栄次郎（第二盛厚丸船長）田畑忠一（喜久丸通信士）村上直市（第五日康丸機関長）

光寮に木琴
盲生ら大喜び

平市出町、光寮の盲ろう生たちは七日日赤県支部から児童福祉週間中のプレゼントとして木琴二台を贈られ大よろこびだつた

折笠候補收容
入遠野の違反

入遠野村の選挙違反事件は益々拡大し毎日二、三十名位召喚され署員総動員で調査作成に大童の体で既に百五十名を突破しこの分では百名の違反者は挙がるものと推測されている、なお村長に立候補した折笠利一は九日平刑務所へ收容された

天気予報
十日【今晩】北よりの風時一時曇【明日】西の風時一時曇、海上沿岸はおだやか沖合はウネリ高い

優良漁船と船員を表彰
江名町水難救護會總會で

△小名浜料飲店組合長鈴木昇七氏談（脱退派）―脱退する理由には別に感情問題などは毛頭なくただ税金、配給物などの適正をきするためには経験者である鈴木治作氏が組合運営の最適任と思われるので今回脱退したまでた、再び組合が一半にまとまろうとは思つていない、飽くまで組合員の総意に従つて今後運営してゆく心算である

△小名浜料飲店組合長飯塚勝氏談―去る三月二十日突然二十三名の組合員から『三月六日開いた役者大会の役員選任には更生飲食店組合の裏面工作があつたも様で非常に不明ろうなものがある』との理由から連名脱退届出があつた、然しその様な事実は全然ないし、強制的に現組合に留つてもらう訳にもゆかず組合員の自由意志を尊重した、当組合では同時でも一本化に努力したばかりのものであつた、脱退した鈴木治作氏らは元小名浜料飲店組合を組織し現組合長飯塚勝氏らは元同組合から分離して小名浜更生飲食店組合をつくつていたもので前記の通り合併したばかり、脱退の理由は組合運営の不明ろうだと指摘しているが一般には感情のもつれから脱退したものと見ている向が多い、双方の言分次の通り

一本化したばかりで
またも二つに分裂
小名濱の料飲店組合

小名浜料飲店組合（組合長飯塚勝氏以下五十一名）の組合員鈴木治作氏ら二十三名はこの程突然同組合から脱退を声明し同名の『小名浜料飲店組合』を結成、組合長に鈴木昇七氏、最高顧問に鈴木治作氏を推しここに同じ組合が二つ誕生し町民を驚かした、同組合は三つの組合に分裂した同町内の飲食業者を鈴木警察署長が仲介の労をとり去る三月六日にやつと一本化

平磯沖合は危險區域
注意を喚起

小名浜海上保安部では第二管区海上保安本部からの連絡で十日各船舶に対し次の通り警告を発した

『茨城県平磯十五マイル沖合で連合軍爆弾投下訓練中のため十日から二、三日は危険である、なお十日午前六時四十分第一発投下位置は北緯三十六度二十三分東経百四十度四十八分、最後の爆弾投下予定地は北緯三十六度十八分東経百四十度四十九分であるから附近を航行する船舶は充分注意ありたい』

貨車三輛脱線

十日午前十時ごろ平駅構内大工町踏切り附近の引込線で連結機関車＝機関士平藤関区小林末蔵さん(四七)＝が砂利を満載した貨車三りょうを連結して進行中脱線した、午後三時ごろ復きゅうの見込み乗車人には乗い竪二はなかつたがレール二本は土の中までもめり込び有様であり復旧は午後三時ごろ上下線には支障はない、原因は東部廿八番ポイントの修理作業が終つていなかつたためポイントの位置が本線に完全な接続をしていなかつたものらしい

しようとするならば合併に応ずる考えている

外科 肛門科 上田醫院 平市南町（平局裏通） 電話 一二九番

女中さん募集 酒喜家 年令20才前後 委細面談 平市銀座通電一七一

お待ちかね！ 5月12日より 第二回 別染 笑鶴ゆかた 展示即賣會 常に好評の かみや独特の柄が ㊙より200円も安く豊富に取そろえました 衣料品の店 ㊙かみや 平 電256 二

往診応需 松田病院 小名浜町駅前通り電四三四 外科 胃腸科 整形外科 呼吸器科 放射線科 松田武一 春山廣臣 今村敏春

競馬 市営オート 5月・11・12・13・14 10時発売開始 毎日12レース 小雨決行 連続勝抜戦 関東北優秀選手百余名出場

いわき民報
（第三種郵便物認可）
日刊（除月曜）定価1カ月金80円（週1回四頁建）一部（二頁）3円（四頁）4円

平城物語（二）

史談会員 鈴木光四郎

鳥居氏の勢力

鳥居氏は二十一年間在城して元和八年に山形二十四万石に栄進したが平に於ける彼の勢力は次の史実によつて如何に強大であつたか想像されるのである。鳥居氏在城中に勅諚を受けてたく濃され鳥居氏に預けられた人々に権大納言雅庸卿の二男、飛騨井宗勝卿あり又徳川氏の忌にふれて配せられた者に越後蒲田山城主松平遠後守忠俊（四十五万石）や伊予宇和島城主富田信濃守信高（十二万石）その他武将に羽柴下総守勝雅等があるがこの平はんへの委託を見ても鳥居忠政が徳川氏から信任が深かつた事と勢力が強大であつたことが想像されるのである。

平の地名起る

平の地名の起りについては次のように種々論議されているが各説を述べて正当なる判断をしたいと思う。

第一説 岩城氏の祖、則道の妻徳御前は奥しゆう平泉の藤原清衡の遠女であり則道に嫁して寛治のころ相伴つて磐城に来てこの地方を支配していた。夫の死後その冥福を祈つて白水に阿弥陀堂を建立した。このとき故郷平泉を忘れがたく平泉を平と白水に分けて地名としたとの説

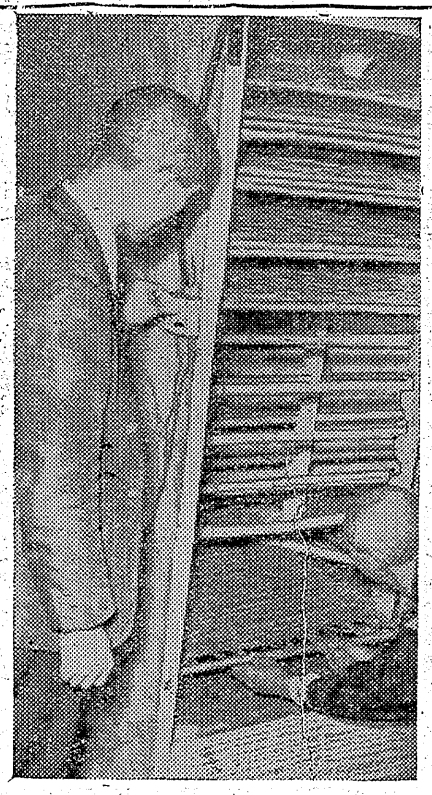
第二説 岩城氏の始祖は平氏の姓を賜わつたが其の古称に倣つて居じゆうするこの地を平と称したとの説

第三説 上古即ち石城国造時代にこの地方に最も広じゆうなる地勢を有していることから自然に平と称するにいたつたとの説

第四説 慶長七年に鳥居忠政が赤目崎物見ヵ岡に築城したが其の位置は飯野郷に属していたから飯野城と称した。その後、間もなく平城と改称されたことから見て、岩城氏が大館城に居るころ、館東のいうを指して飯野平と呼んでいたことを平城の名称に移したものとする説

第五説 猪俣金五郎氏の説 八幡神社社司飯野盛男氏が所蔵する七百余年前の飯野文書から判断して平の地名の起りは次のようになる。飯野文書には波立、末続などの地名があるから八幡神社領としての好島庄の広さは双葉郡にも及ぶ広大なものであつた。又飯野文書には平窪、河中子、矢河子、今新田、小谷作古、小島、紙谷、つづらなど平遠辺の地名が多く出ているが、平という地名は見受けられないのである。おそらくは文書に見える今新田、仏崎、北目、東目などと言う地名が今の平市の一部に相当するものであろう。北目は今も平市の北部にあり東目、仁井田橋は東部に残つている。徳尼の話は正確なる史料がないので伝説と見るべきであり、平の地名の起りは比較的新しいものではなかろうか。今から五、六百年前迄は一面の田地つづきであつたが中世の終りに近く岩城氏の興隆に次いで鳥居氏が築城するに及んで城下町として急速に発達を見たとき、平という名称が起つたと見るのが相当であろう。

以上が猪俣氏の意見であるが確実なる史料である飯野文書の史実から見て私はこの説を支持したいと思うのである。



稚蚕飼育に電熱利用

夏井で試験的飼育に着手

石城地方事務所並郡養蚕業技術指導所では養蚕掃立さに際し稚蚕の新しい電熱温床育法を採用することになり県下のトップを切つて九日夏井村大字山崎農業稲葉要さん方の母屋六畳間で試作的な実験を行つた、この電熱温床育は間口一間、奥行四尺、高さ一間の箱の床に電熱線（ケーブル線）十五、六本を砂の中に通し室内の保温（二十七度内外）を持つて飼育日数十日間の掃立て作業をするもので、衛生的であり生産品は良質できようその被害が少なく大量に飼育できるし、又経済的で飼育の操作が簡便で老人子供でも出来るという特点がある、これによれば従来の一家総出の稚蚕育の方法より労力軽減が出来、野良仕事をしながらでも可能だという、設備費用は約五千円位のもので飼育日数十日間の電力量は六十キロ（一キロ九十銭）を使用する位のものであるといつている、この飼育方法は一昨年来難馬県で実用化されて居り蚕者に普及を図ることになつた（写真は電熱温床育による稚蚕飼育作業）

三區制に分割

小名濱町婦人會

小名浜町婦人会では今年度第一回総会を八日正午から同町展望町ハトバホールに会員約二百名が参集して開催、既組織が地域的に広範囲のため連絡、統轄が欠け勝ちなため組織を町内の学区別区域に準じ第一婦人会＝仮称以下同＝（古みなと、中島、本町方部）第二婦人会（定西、松ノ中方部）第三婦人会（旧玉川方部）の三区制に分割、更に今年度共同行事として公民館の建設促進、冠婚葬祭の簡素化、婦人学級の開講などを満場一致で決定、続いて講演、余興を聴き四時閉会した

十九万三千噸

賣れ行き案外良好

四月分出炭

平石炭事務所の調べによる四月分の本県出炭実績は十九万三千九百二十八㌧と先月より四万三千㌧の減炭となつた、送炭実績は十九万六千三百七十一㌧と出炭をオーバーし月末貯炭は三万六千㌧（先月末四万九千㌧）と減じた、県内各炭鉱は五月に入つても売れ行きは案外よく飛ぶ様に売れ、京浜市場ではこの常磐炭は九しゅう、北海道の良質炭を混合されて売られている関係、遠炭をする程の余裕のない好景気は依然として続いている

白い羽根成績

小名浜町の赤十字社寄白い羽根募金運動成績は八日現在で一万六千五百五十九円となつた

月見町完遂

白い羽根運動

平市の白い羽根戸別募金は七日月見町が四千六百円の目標トップを切つて完遂した、七日から始まつた街頭募金は第一中の生徒の手で九千七百九十三円五十銭の成績を挙げた

商友會總會

十三日開く

平商高商友会（会長富川義一氏）二十六年度総会は来る十三日午後二時より平商高に開く

議題は二十五年度決算、事業各報告、二十六年度予算、増築資金造成、商友会報発行など

職業家庭科研究會開く

來る十二日

石城郡平市小中学校職業家庭科研究会は十二日午前九時から四倉中に開催指導要領の改正に就き検討協議する

映畫會開く

結核赤痢豫防

平保健所では九日から十五日まで六日間にわたり結核と赤痢予防のための映画会を催す、日程は次の通り

△九日 日そう赤井△十日 古河好間鉱業所△十一日 江名町

カリキュラム構成員設定

教育目標の徹底へ

平市内小中学校では科学情操基礎技能体育を基礎にして実践的社会人を形成するためこのほどカリキュラム構成委員を設定し教育目標の徹底を図ることになつた

△運営委員委員長黒田吉之助 副委員長田仲重三 庶務会計坂本篤 目標設定委員長谷川敏 黒田吉之助 湯山啓二 新家芳美 河原鄰之助 西牧清富 佐藤豊 中島茂 つく井浩 菱沼儀坂本篤 山名幸三 増井義栄 吉田利次郎 弁藤栄次 阿部政延 田中重三 叶多敬寿 草野求 増子和正 羽賀光子 太田幸男 増井ハル 長谷川恭敬 芳賀正義 植田文夫 野村ヨシノ 藤田正己、△教科及教科外委員中学校部長三ヘい栄中学校副部長藤田正己 小学校部長 金成兵司△調査委員委員長わら谷肩吉副委員長佐々木三雄△評価委員委員長菅波ミノル副委員長木林健治

平の大黒屋 純綿新値大會 續行

皆様の利益を図る店

連日の盛況厚く御礼申上げます 御好評に応え全店金力を挙げております

今度始めました土曜、日曜奉仕品はたえざる皆様の御愛顧に対する感謝の印までに社長馬目勝次郎が皆様に贈る奉仕品でございます もち論利益はほとんど考えておりません 十、日奉仕デー！御来店をお待ち申しております

列車に妨害

八日午後七時五十分ごろ常磐線上り二三二列車が湯本町傾城トンネルにさしかゝつた際逗方信号機が下りないので調べたところトンネル内の上下線レールボンド十五本が盗まれているのを発見した、平鉄道公安室では驚異な列車妨害と見て犯人捜査中

役場△十二日 常磐炭鉱事業所△十四日 未定△十五日 泉村役場

少年三名で盗む

小名浜町の十八才の少年三名は共謀の上三日午後四時ごろ同町高山日本水素施設敷道レール一本鉄クズ四貫（二千円相当）などを盗んだ疑いで九日小名浜町署から書類送検された

都を戀う娘

平市大字中神谷農業鈴木純一郎＝（五）さん方長女恵智子（七）は八日午後家出、常磐線上り二三二列車で上京の途中手配により水戸鉄道公安室に保護された、家人との折合が悪く映画で見た花の東京にあこがれ家を飛び出したもの

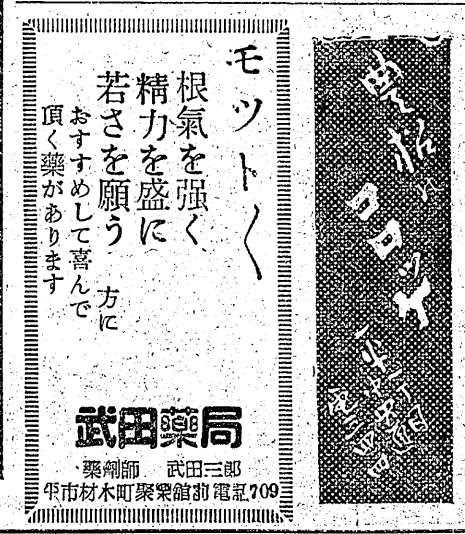
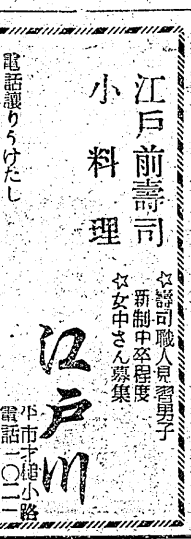
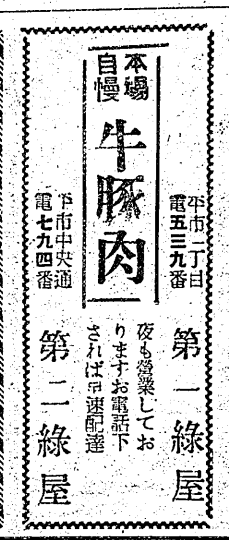
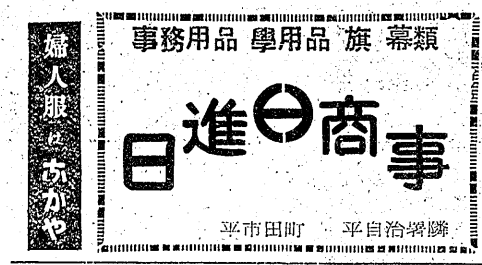
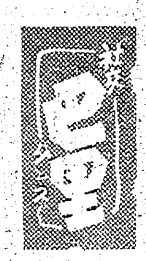
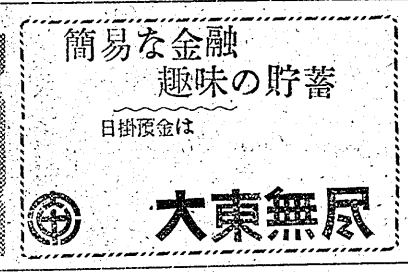
三曲温習會

十三日湯本で

湯本町杉美会では十三日午前十時から公民館ホールで第二回三曲温習会を開催する、同日は平市から鐘田教受飯村杉慶氏を招き生田目杉美、若松なお子、小野利恵氏等が松竹梅、春の訪れ、春雨幻想曲、茶の湯、末の契り等多彩な曲を演奏、一般にも公開する入場は無料

ラジオ

ローカル（11日）

前・一五 池ノ台談話室『随想二題』郡山放送局 後・三〇 県政の窓『農協再建整備法について』県農協課佐久間課長 後・三〇 郷土の夕『青少年クラブ活動について』郡山放送局

11日より5日間 聚楽館